



▲エトワールによるハンドベル&フルート

日の短さが少しずつ感じられる季節になりました。一日があっという間に過ぎていくように感じます。朝夕は冷える日もありますので、みなさま体調にはご注意ください。

11月は児童虐待防止推進キャンペーン月間です。児童虐待のニュースを耳にするたびに心が痛みます。子どもは未来の宝物、社会全体で育てていかなければなりません。「里親」もそのひとつのカたちです。みなさまのやさしさで子どもたちを包み込んであげてください。

そして、11月6日からは、トライやるウィークが始まります。中学生たちは、各店舗や事業所などで働き、地域の方々のやさしさで大きく成長します。みなさまのご協力に感謝します。

また、情報化の進展によるデジタルデバイドの問題があります。「スマホを使いたいけどわからない」という方などを対象に、体験型講習会を実施します。スマートフォンはいろんな情報を送ったり受け取ったりできるとても便利なもので、災害時の緊急伝達手段としてもとても有効です。この機会にぜひご参加ください。誰一人とり残されないやさしいまちを目指します。

そのほか、平和祈念式での平和演奏であったり、企業版ふるさと納税によるご寄附をいただいたり、まちは多くのやさしさで支えられています。

やさしさとは見返りを求めず、損得を考えないで誰かのためになる行動を進んで行うことだと思います。互いに思いやり、やさしさにあふれるまちの実現に向けて、ささやかな気遣いを、今日から始めてみませんか。

やさしさはまちをひとつにしてくれます。ワンチームはりまを目指し、今日も心をフル回転に「ハートフル」で頑張ります。

播磨町長 佐伯 謙作



あんぜん・あんしん暮らしのメモ帳

播磨町消費生活センター ☎079-435-1999

ご相談は…お電話ご来訪どちらでもご相談ください。ご来訪の場合、産業環境課窓口にお声がけください。

▶相談日時 ※専門の相談員が相談に応じます。
毎週月・火・木曜日（祝日、年末年始を除く）
9時～12時 13時～16時

脱毛エステのトラブル。男性も増加中!

事例
脱毛エステで「お試し施術」「月額1000円」の広告を見て、広告のコースを希望したが、約50万円の高額プランを強引に勧められて、契約をしてしまった。解約したい。

ひと言助言
●全国の消費生活センターには、低価格の料金の広告をみて脱毛エステに出向いたところ、「納得のいく脱毛をするにはこれぐらいの料金が必要」と言われて、高額な契約をしてしまったとする相談が多く寄せられています。

●性別では女性からのご相談が多いものの、2020年度からは、男性からの

「ひげ脱毛」などのご相談も増加しています。

●「割引は今日だけ」などと説明されて契約をせかされるケースもあります。金額やコースの内容に不安がある時は、安易に契約をしないようにしましょう。

●契約をしても書面を受け取った日から数えて8日以内であれば、クーリング・オフが出来ます。

●また、クーリング・オフ期間が過ぎても契約期間内であれば、中途解約が可能な場合があります。



楽屋裏
大中遺跡まつりのご案内を掲載しました。飲食ブースが復活し、ステージはパワーアップします。古代体験ブースには、今回初めてお目見えする団体もあり、同時開催の東播磨3市2町の「魅力発見市」は、初の試みです。もちろん、他では真似できない古代行列や火起こしの儀なども完全復活です。

11月4日、大中遺跡公園でお待ちしています。(宮)



きゅんぱすだより



蓮池小学校6年生



▲活動風景

みんなでおいしく食べるために

蓮池小学校では、委員会や学年で「食」について考える活動をしています。6年生の家庭科の授業では、給食の献立を考えました。献立を考えるに当たって、栄養教諭にも授業に参加していただき、いろいろなアドバイスをいただきました。班でテーマを決め、テーマに合う料理を、今までの給食から選びました。栄養教諭からのアドバイスを

生かせるよう栄養バランスやエネルギーなども考慮し、試行錯誤しながら献立を考えていました。各班のテーマはそれぞれですが、どれもこれもよく考えられています。すべてを学校給食で食べたいくらいでした。各班で考えた献立は学校の職員の方々に投票をおこなってもらい、いくつかが選ばれました。実際に給食に登場します。さて、どの献立が採用されるか。秋になるのが楽しみです。こちらも楽しみます。

また、給食委員会で給食についてのスライドを作成し、全校生に見てもらいます。こちらも楽しみます。

多様な人が参画してつくるコミュニティ活動

9月2日、蓮池小学校グラウンドで、のぞえ花火大会2023が開催されました。播磨町内で初めての試みとなるこの花火大会は、ボランティア花火師によるおもちや花火をつかった試みで、当日は約4000人の観覧がありました。

この花火大会の発端は、コロナ禍でもできる活動として、3年前に野添コミュニティ委員会が企画されたことにあります。当時は開催には至りませんでした。昨年の年末から改めて検討を始めたところ、花火大会を模索中だということを知った蓮池小学校おやじの会の灯足るの会メンバーがコミセンを訪れたことで一気に企画が動いたようです。これまで野添コミュニティ委員会と灯足るの会は同じ地区で活動しているにも関わらず、連携や協力の機会は少なく、今回の花火大会をきっかけに協働がはじまりました。また当日の運営には、野添コミュニティ委員会、野添連合自治会、民生児童委員や地域の皆さん、播磨中学校の生徒など多



▲中学生と民生児童委員と一緒に受付

様なメンバー約100人が関わって警備や駐輪場管理、受付や案内などをおこなっていました。これからのコミュニティ活動は、役に就いているから関わるだけでなく、何でもから大人まで「関わってみたい」と思っている多様な人が立場関係なく関わることが大切です。多様な人が参画できるためには、そのつなぎ役もとても大切な役割になっていくでしょう。

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。

まちづくりアドバイザーがお届けする
まちアド通信 協働推進課住民協働係
☎079-435-2364